

Zoom Up

燃えるごみを自宅前で収集し負担軽減 戸別収集のモデル地区拡大

市では、皆さんの負担軽減とごみ減量のため、戸別収集の効果を検証しています。2019年から金田・まつかげ台・小野をモデル地区として開始したところ、出されるごみの量が12%減少しました。10月からは、厚木北・厚木南・依知南をモデル地区に加え、さらなる検証を進めます。

ごみは、日々の生活で必ず発生します。市が20年に実施した調査によると、雨や暑い日のごみ出しに負担を感じている人は34%。年代別では30〜49歳が40%と高くなっています。市では、皆さんの負担を軽減し、ごみの減量につなげるため、モデル地区を設け自宅前に燃えるごみを出す戸別収集の検証を進めています。

負担軽減とごみ減量のために

モデル地区での検証は、19年に金田・まつかげ台・小野で始まりました。8



燃えるごみは決まった曜日の8時30分までに自宅前へ



ごみ収集車が各戸を巡回し回収

戸別収集の概要

【モデル地区】

金田・まつかげ台・小野（2019年5月～）
厚木北・厚木南・依知南（22年10月～）

【出し方】

- ・燃えるごみのみ指定日に戸別収集
- ・収集日の8時30分までに自宅前へ出す
- ・ごみ袋は透明または半透明の物を使用
- ・出すときはポリバケツや収納ボックス、ネットでカラスやネコなどの対策を

カ月間実施した後のアンケートでは、負担が減ったと感じている人が76%に上りました。さらに、ごみの収集量は戸別収集実施前と比べると、年間で13.8%減るといふ効果も表れています（左下グラフ参照）。

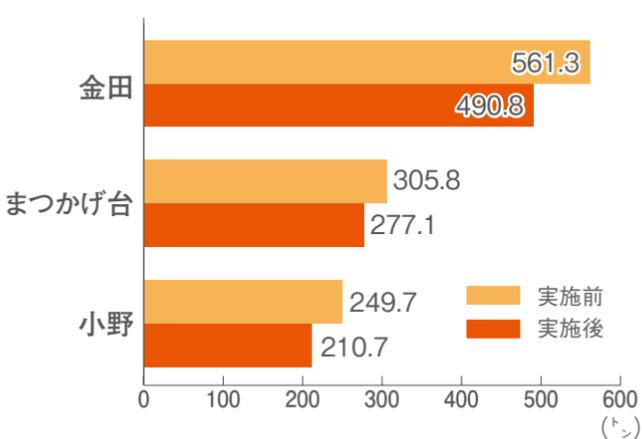
金田に住む谷川佐也子さん（44）は「集積所に行かなくて済むので雨の日は特に負担が減ったし、何かと慌ただしい朝の時間短縮にもなっている。自宅前にごみを出すので、分別にも今まで以上に責任を持つようになった」と話します。

市では、こうした結果を受け、10月

循環型の都市を目指して

市内の家庭から出る燃えるごみの量は、20年前に比べると45%減っています。しかし、より良い環境を未来に引き継ぐためには、さらなる取り組みが必要です。市では、事業者向けの食品廃棄物の資源化事業を始めるなど、ご

戸別収集実施前後の年間収集量の変化



み減量に力を入れています（右欄参照）。市、家庭、事業者みんなで取り組み、ごみを減らし資源として生かす、循環型のまちを目指しましょう。

環境事業課 ☎225-2793



リサイクル施設見学会

生ごみを資源化する施設などを見てください。

環境事業課 ☎225-2793

日時 11月9日 8～17時
場所 (株)Jバイオフードリサイクル横浜工場
 かわさきエコ暮らし未来館
 ※厚木中央公園に集合しバスで移動
内容 生ごみをバイオエネルギーに変える様子や大型太陽光発電所を見学
対象 市内在住の18歳以上25人 **費用** 無料
申込 10月31日までに環境事業課へ。抽選。 ☎



申し込みはこちら▶

参加希望者 相談受け付け

事業者の食品廃棄物を 収集し資源化 10月スタート

ごみの焼却を減らしCO₂削減につなげるため、市内事業者の食品廃棄物を市が収集しリサイクルする事業を始めます。参加を希望する事業者は相談してください。

環境事業課 ☎225-2793

【対象】市内に事業所がある事業者または、1年以上市内に住み事業を営む個人（市税の滞納がないこと）

【内容】月～土曜の指定日（年末年始を除く）に収集し、リサイクル施設に運んでバイオエネルギー化

【費用】リサイクル施設での処理経費1キログラム28円（税別）

事業概要や食品廃棄物の量が分かる物を用意し、環境事業課に相談。相談後に、申請書や必要書類を案内。



【事業のポイント】これまで食品廃棄物は事業者が環境センターに持ち込み焼却処分。それを資源化することで、焼却量を減らしCO₂も削減

詳しくは市HPに掲載▶





Zoom Up

インターネットで手軽に申請 住民票の写しなどを自宅で取得

10月3日から、住民票の写しなどの申請・支払いがインターネットでできるようになります。皆さんの自宅で手軽に行政手続きができるよう、デジタル技術を使ったサービス向上に力を入れていきます。

申請・支払いが自宅で

スマートフォン等の普及やコロナ禍での外出自粛などで、電子申請の需要は高まっています。市では、粗大ごみの収集申し込みなどに使っている電子申請システムに、10月から料金支払いの機能を追加。これまで郵送で受け付けていた住民票の写しなどの申請・支払いを、インターネットでできるようになりました。

10月3日からスマートフォンやパソコンで申請できるのは、住民票の写しなど5種類の証明書です(左欄参照)。仕事を休めない、感染対策で外出を控えているなどの理由で市役所に行けない方でも24時間手続きできます。証明書は申請から7日ほどで手元に届きます。返信用の郵送料はかかりませんが、これまで必要だった切手や手数料分の定額小為替の準備が不要になります。支払いは、県内で初めて3種類の電子決済方法を導入。クレジットカード・インターネットバンキング・電子マネーから選べ、利用者が好きな方法で支払えます。

デジタル化で手続きを手軽に

市では昨年、戸籍謄本・抄本や住民票の写し、納税証明書などを発行する窓口での料金の支払いに電子決済を導入しました。今後も、皆さんの負担を減らせるよう、児童手当に関連する申請や要介護・要支援認定の申請など、新たに子育て・介護の分野でも電子申請システムを充実させ、サービスの向上を目指します。

情報政策課 ☎25-2459

新しくなった電子申請でできること

- 取得できる証明書 詳しくは市HPに掲載
住民票の写し、戸籍謄本・抄本※1 市民課 ☎225-2110
市・県民税(課税・非課税・所得)証明書、納税証明書(法人を除く)※2、軽自動車税車検用納税証明書
市民税課 ☎225-2012
- 料金 各種証明書の発行手数料と郵送料
- 決済方法《クレジットカード》Visa、Mastercard、JCB、アメリカン・エクスプレス 《インターネットバンキング》Pay-easy(ペイジー)《電子マネー》PayPay、LINE Pay、Apple Pay

申請には、電子申請システム(e-kanagawa)の利用者登録が必要
※1は申請時にマイナンバーカードが、※2は運転免許証などの本人確認書類が二つ必要

申請の流れ

- 電子申請システムの手続き一覧から証明書を選択
- 利用者IDとパスワードを入力しログイン
- 氏名・住所・電話番号・返送方法などを入力し申請
- 市が申請を受け付け後に支払い案内をEメールで通知
- 案内を確認後、電子決済方法を選んで支払い
- 市が支払いを確認したら、証明書を郵送

新型コロナワクチン接種のお知らせ

※情報は9月12日時点

- オミクロン株対応ワクチン接種(10月半ば以降)
12歳以上で初回接種を完了した方を対象に、オミクロン株対応ワクチンの接種を、医療機関での個別接種や集団接種で実施します。実施医療機関や予約方法などの詳細は、市HPや広報あつぎ10月15日号でお知らせします。
- 《接種券》3・4回目の接種券を持つ方は、既存の接種券を使用
新たに対象となる方には10月中旬以降、順次発送
※1・2回目接種は、個別接種で引き続き接種可能(従来ワクチン)
- 5~11歳の3回目接種
《対象》2回目接種から5カ月経過した5~11歳
《接種場所》市内・愛川町の18医療機関
《ワクチン》小児用ファイザー社製ワクチン
《接種券》2回目接種が5月まで=9月末発送 6月中=10月末に発送
- ワクチン接種証明書(国内用)をコンビニで発行
《日時》毎日6時30分~23時 《場所》セブンイレブン 《費用》120円
マイナンバーカードを持ち、直接店舗へ。
※海外渡航用は、すでにアプリまたは窓口で取得した方のみコンビニ発行が可能

☎ワクチン接種コールセンター ☎0570-054-666

医療的ケアが必要な児童・生徒に訪問看護師を派遣

日常的に医療的ケアが必要な児童・生徒が安心して学校などに通えるよう、訪問看護事業者から看護師を派遣します。

《対象》①市立小・中学校または幼稚園、認可保育所(3歳クラス以上)に通うまたは見込み②経管栄養、導尿など、短時間かつ定時の処置が可能な医療的ケアが必要—の全てを満たす市内在住の児童・生徒

《事前相談先》
小・中学校・・・教育指導課 ☎225-2675
幼稚園・・・こども育成課 ☎225-2262
保育所・・・保育課 ☎225-2231

※担当課への事前相談後、学校・幼稚園・保育所、訪問看護事業者、主治医に相談。保育所は4月入所が原則のため、10月20日までに事前相談した後、1次入所申し込みが必要。

☎事前相談後に配布する申請書、主治医の指示書の写し、校長・園長・所長の承諾書の写しを持ち、直接担当課へ。



年間約30種類の野菜を育てる直文さん

伊藤さんの農場の野菜が学校給食に使われ始めたのは、直文さんが就職する前の2008年。近所の小学校に単独調理場ができ、父の洋文さんが学校や行政から地場野菜を給食に取り入れたいと声を掛けられたのがきっかけでした。「子どもたち

給食から地場野菜の広がりを

農家 伊藤直文さん(34・温水)

じりじりと日差しが照りつける8月。セミの鳴き声が響き渡る畑には、たくさんのネギがきれいに並びます。「12月頃まで育てて、学校給食の食材として出荷するんです」。そう話す伊藤直文さんは、我が子の成長を見守るように、作物の育成を確かめていました。

学校給食に込める思い

68年前から始まり変化を続ける、厚木の学校給食。今回の特集では、食材の生産・調理・献立づくりなど、給食を支える人たちの思いを聞きました。
◎学校給食課 ☎225-2668



今も昔もこれからも、ずっと変わらないもの

加工食品製造業 飯田正幸さん(70・元町)



出荷作業をする直文さん(中央)と父の洋文さん(左)

直文さんは、大型直売所の「夢未市」や地元スーパーなどでの直売に力を入れています。「買ってくれた人から『おいしかった』と直接声が聞けるとうれい」と笑みをこぼす一方、「生産者の顔が分かるからこそ中途半端な物は出せない」と力を込めます。給食だけでなく農業体験などでも、子どもたちに農業に関心を持つきっかけづくりをする直文さん。「生産者だからできる話や思いを、子どもたちに伝えたい」。農と食への思いを胸に秘めながら、今日も野菜づくりに汗を流しています。



遠くから新鮮な野菜を買い求める方もいる

「と話す直文さん。なるべく農業を使わず、病気になる土作りなどを工夫しています。

農業にも関心を

直文さんは、大型直売所の「夢未市」や地元スーパーなどでの直売に力を入れています。「買ってくれた人から『おいしかった』と直接声が聞けるとうれい」と笑みをこぼす一方、「生産者の顔が分かるからこそ中途半端な物は出せない」と力を込めます。給食だけでなく農業体験などでも、子どもたちに農業に関心を持つきっかけづくりをする直文さん。「生産者だからできる話や思いを、子どもたちに伝えたい」。農と食への思いを胸に秘めながら、今日も野菜づくりに汗を流しています。

夜が明けるところ、明かりのともった製造所には、熱い湯気が立ち込めています。飯田正幸さんは、のり状のこんにやくを木製の型枠に流し込み、手際よく木べらで表面をならしていきます。「今回のオーダーは三角こんにやくだから、給食の献立はおでんなのかな」。飯田さんの製造所では父親の代から53年間、市内の学校にこんにやくを届け続けています。



製造段階のこんにやくは熱い。手際よく限られた時間内で作業する飯田さん

慣れた手付きで機械にあくを入れる飯田さん。「練る作業は、これを混ぜるタイミングが難しい。間違えると固まったときに弾力が変わる」。原料のこんにやくの質やその日の気候に合わせて、配合を調整します。加えて給食用は、柔らかく仕上げたり気泡の入りに具合を変えたりと、献立に合わせて作り方を変えています。「できるだけおいしく食べてほしいから、自分なりに」と、子どもたちのため、日々工夫を凝らしています。

飯田さんには、市内の学校に通う孫がいます。「孫が学校から帰ると、『給食にこんにやくが入っていたよ。おいしかった』などと話してくれる」と目を細める飯田さん。「子どもたちには、家庭でも学校生活の一つとして、給食の話をしてほしい。おいしかった献立が食卓にも並べば、食に興味を湧くのでは」と期待を寄せます。

今後は学校給食の食材として作り続けていくと言いつける飯田さん。「おいしい」という子どもの笑顔に力を変え、真っ白な作業着を着た飯田さんは、今日も年季が入った機械を手際よく動かしています。

家庭でも給食の話

心身の成長を支え続ける給食
神奈川工科大学 管理栄養学科 准教授 大澤 絢子 さん
学校給食は、多くの栄養素をバランスよく取れるよう作られています。家庭で取りづらい栄養素や食生活での偏りも補い、子どもたちの成長期を支えています。また、食育でも大きな役割を担い、食材や食文化、望ましい食習慣、健康などを考え、生きる力を身に付ける重要な機会となっています。
今後、給食の内容や形は時代に合わせて変化するかもしれませんが、子どもたちの健やかな生活と成長のためにという大きな軸は、この先もずっと変わらないものだと思います。

給食食材はどこから来る？
市に登録や県学校給食会が指定した業者の物資で調理しています。
《登録・指定業者》
パンや牛乳、青果物、精肉など29社
《地場野菜の納品農家》
登録業者の他、市内各地域の約30農家から地場野菜を取り入れています。



大きな調理器具で食材を混ぜる調理員



9月から新しくなった中学校給食

安心・安全でおいしい給食を
新たな北部学校給食センターがオープン
9月から市内全13中学校に給食を届ける新しい学校給食センターの運用が始まりました。
《施設の主な特徴》
●最新の調理設備
炊飯設備を新たに導入。外部委託していた米飯を本施設から提供
●食育学習
2階展示ホールでは見学窓や調理釜・付着したほりを取り除くエアシャワーなどの体験コーナーを設置
●災害時対応
プロパンガスと移動式煮炊き釜を常備し、1日最大2000食の炊き出しが可能に

食育につながる献立を
献立は半年前から考えています。季節の行事食や旬の食材、地場野菜を使った献立などを取り入れ、生きた教材として食育が学べるよう心掛けています。給食が学校へ来る楽しみの一つになってくれたらうれしいです。
北小学校 栄養士 前田 優子 さん(42)
市内の単独調理場校や学校給食センターには24人の栄養士が従事している

学校給食に地場野菜をパクパクあつぎ産デー
市内小・中学校に地場農産物を取り入れた献立を提供しています。各校で月3回程度実施し、食育に取り組んでいます。
《主な農産物》
玉ネギ、ジャガイモ、小松菜、里芋、白菜、ニンジンなど

おうちで給食レシピ
子どもたちに人気のある献立の作り方を市HPで紹介しています。家庭でもおいしい給食を作ってみませんか。
QRコード
HPはこちら

沢煮焼
《材料》(4人分)・豚肉 40g・ゴボウ 1/8本・ニンジン 1/5本・大根 1/8本・玉ネギ 1/2個・干しシイタケ 1/2枚・油揚げ 1枚・小松菜 40g・だし汁 320cc・酒 小さじ2・塩 小さじ1/4・こしょう 少々・しょうゆ 小さじ1
《作り方》①鍋にだし汁を入れ加熱し、豚肉を加える②①のあくを取り、千切りにしたゴボウ、ニンジン、大根、玉ネギ、干しシイタケを加えて煮た後、油揚げを加える③酒、塩、こしょう、しょうゆを加え、塩ゆでした小松菜を入れて完成



休憩中に談笑する飯田さん(中央)と妻の郁子さん(右)

1万3000人が災害に備え

総合防災訓練を開催



心肺蘇生法を学ぶ市民ら

9月の防災週間に合わせ、大規模災害に備えた総合防災訓練を開催し、市職員や市民らおよそ1万3000人が参加しました。

玉川小学校では、玉川地区の自主防災隊が中心となって、シエイクアウト訓練をはじめ、要支援者への声掛け手順や消火器・自動体外式除細動器（AED）の使い方などを確認。訓練を運営した同隊長の加藤隆さん（72）は「災害が起きたときは、まず自分で自分の身を守る自助が大切。訓練や日頃の関わり合いが生かされると思う」と話していました。厚木中央公園では、市職員らが避難所の照明や扇風機などの電力供給に使う発電機の使い方、災害用トイレの設置方法を学びました。

夏の終わりを楽しむ大人のイベント

あつぎジャズナイトを3年ぶりに開催

バンドの生演奏などが楽しめるイベントが、厚木公園で開催されました。会場には仕事帰りの方や子ども連れなどおよそ4000人が訪れ、ジャズの音色に耳を傾けていました。

イベントは、中心市街地の活性化とにぎわいづくりのため、まちなか活性化プロジェクトが2010年から実施。感染症の影響で、3年ぶりの開催となりました。今回は感染対策として、日程・時間を短縮し、酒類の提供はあくすなどの対策が取られました。会場に訪れていた牧野寿卓さん（35）は「3年ぶりということで来てみた。演奏が生き生きしていて楽しい」と話していました。



出演者らのパフォーマンスに酔いしれた



「あつぎいろ」で街ににぎわい

本厚木駅前に巨大モニュメントが登場

9月、市の玄関口である本厚木駅前北口広場に、「ATSUGI」の文字をかたどった横幅6m・高さ2mの白いモニュメントが設置されました。モニュメントは、商業者や市民らでつくるまちなか活性化プロジェクトが初めて設置。明るく元気なまちを演出し、感染症拡大の影響を受けている商業者への支援と、厚木を訪れるきっかけづくりのために実施しました。SNSで写真の投稿や情報の拡散をしたり、写真を協力店舗で見せたりするとお得な優待が受けられるキャンペーンも開催しました。

優待サービス実施店の南谷洋樹さん（35）は「コロナ禍で客足が戻らない中、モニュメントやキャンペーンが厚木に来るきっかけになればうれしい」と話していました。



夜は鮮やかな色にライトアップされた

全国優勝の喜びを報告

厚木商業高校ソフトボール部が市長表敬

厚木商業高校ソフトボール部が、8月に高知県で開催された全国高等学校総合体育大会で優勝し、市長を表敬訪問しました。部長14人と顧問や同校長らが市役所を訪れ、優勝の喜びを報告しました。

この日は、主将の矢藤瑠璃花さん（3年）をはじめ、部員全員が1人ずつあいさつ。矢藤さんは「地域や卒業生など、周りのサポートがあつて日本一になった。たくさんの応援をいただき感謝している」と笑顔を見せました。小林市長は「仲間への思いやりや気持ちの強さが結果につながったと思う。おめでとうございませう」と祝福しました。同部は、3月開催の選抜大会準決勝で敗れた山梨学院高等学校に決勝で勝利し、10年ぶり8度目となる優勝を果たしました。



市長に喜びを報告する矢藤さん



第12回 みんなで! SDGs

SDGs（持続可能な開発目標）の実現のために設定された17の目標を知り、できることから実践しませんか。

目標4 質の高い教育をみんなに

世界では、子どもたちの約8%が小学校に通っていません。誰もが公平に、質の高い教育を受けられる社会となるよう、私たちにできることを考えましょう。

4 質の高い教育をみんなに



できる取り組みは？

世界の教育に対する理解を深める



日本では義務教育制度が確立され、世界と比べると教育水準が高いため、世界の教育の現状をイメージするのは難しいかもしれません。まずは世界の現状に対する理解を深めることから始め、「私たちに何ができるのか」を考えてみましょう。

教育ボランティア活動への参加

教育に関するボランティア活動は、勉強や野外活動、工作を教える教室など、多岐にわたっています。教育はあらゆる人が対象であり、地域の子育てボランティアなども教育につながる活動の一環です。

企画政策課 ☎225-2450

二酸化炭素排出量を2050年までに実質ゼロへ。厚木市は昨年2月、「ゼロカーボンシティ」を表明しました。今年度は五つの最重要事項の一つに「カーボンニュートラル（CN）」を位置付け、実現に向けた道筋や皆さんに参加していただくための仕組みを整えています。

7月26日には、市内の企業や大学などと連携していくため、「CN推進ネットワーク」を設立。翌月31日には、



23団体の皆さんと共同宣言

参加団体が一丸となって進んでいくための共同宣言を発し、各団体の皆さんから取り組みを広めるための意気込みや使命感などの熱い思いをお聴きました。

CNとは、二酸化炭素をはじめとした温室効果ガスの排出量から、植林などによる吸収量を引いた合計を実質ゼロにすること。気候変動を抑えるため、地球規模での取り組みが進められています。

日本列島は今夏、異常な猛暑に見舞われました。気候変動を放置すると、こうした異常気象のリスクが高まるといわれています。この美しい地球と私たちの大切な未来を守るため、皆さんと共に気候変動対策に貢献できよう、取り組んでまいります。

タウンガイド

10月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

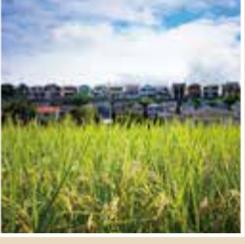
☎=申し込み ☎=問い合わせ ☎=電話番号
 ☎=ファクス番号 ☎=Eメール HP=ホームページ
 ☎=講座予約システム(インターネットで申し込み可)
 市役所への郵便物は「〒243-8511〇〇課」で届きます。

11月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

あつぎのしゃしん。

「黄金色の輝き」
 #9月3日撮影
 #稲穂
 #恩名
 #niceatsugi
 広報課公式インスタグラムで公開中




秋期企画展 バッタ

はねる、飛ぶだけじゃない
 バッタの魅力
 ☎あつぎ郷土博物館 ☎225-2515



©Kenichi Hirono

身近な虫・バッタを、専門家から楽しく学べます。

■展示
 《日時》10月8日～12月4日(10月31日、11月28日を除く) 9～17時
 《内容》バッタの標本やおもちゃ、食品などの展示

◆講演会「バッタと遊ぼう」
 《日時》10月22日 13時30分～15時30分 《定員》50人
 《内容》実際に捕まえる観察会と、意外な素顔を学ぶお話し

●講演会「トノサマバッタはむね肉ともも肉が旨い！
 人類が食べ続けてきた昆虫の魅力とは」
 《日時》11月23日 13時30分～15時30分 《定員》50人
 《内容》昆虫食の魅力を学ぶ

あつき 元気Wave
 10/1～CATVで放送

いずれも場所はあつき郷土博物館。無料。☎当日直接会場へ◆
 ハガキ、ファクス、Eメールに講座名、代表者氏名、人数、〒住所、
 電話番号を書き、◆10月12日●11月13日(消印有効)までに〒243-0206
 下川入1366-4あつき郷土博物館 ☎246-3005・☎8650-3@city.atsugi.kanagawa.jpへ。抽選。☎

新型コロナウイルス感染症に関する県の相談窓口

新型コロナウイルス感染症専用ダイヤル(24時間対応)
 感染の不安がある方、健康・医療の相談、診療ができる医療機関の案内など
 ☎0570-056-774

新型コロナウイルスの影響で掲載の催しが中止となる場合や、利用に制限のある施設があります。市HPで随時お知らせします。

保育のしごと 就職フェア

10月29日、13～16時。あつき市民交流プラザ。市内で働く保育士による園の紹介や就職の助言など。市内の保育施設に就職を希望する方。☎当日直接会場へ。☎保育課 ☎225-2768。



直接、予防課 ☎223-9369へ。

ごみ中間処理施設工事説明会

10月15日、19時～20時30分。依知南公民館。金田地区で2025年から稼働予定の施設の工事・事業の進捗をお知らせ。☎当日直接会場へ。☎厚木愛甲環境施設組合 ☎297-1153。



危険物取扱者受験準備講習会

11月5日、9時30分～17時。愛川町消防本部。危険物取扱者試験を受ける方。9600円(テキスト代)。☎消防本部や各消防署・分署にある申込書を、10月3日～11月4日に

競争入札参加資格の定期申請を

市が2023年4月1日～25年3月31日に発注する建設工事・業務委託などの入札に参加する事業者は申請が必要です。☎11月30日までにかながわ電子入札共同システムHPで

申請し、提出書類を12月1日(消印有効)までに簡易書留で〒243-8511 契約検査課 ☎225-2171へ。

あつき郷土博物館の臨時休館

展示工事に伴い、10月5～7日は休館します。駐車場も利用できません。☎あつき郷土博物館 ☎225-2515。

みんなの声でつくるまち

《意見交換会》
 ■児童館再整備に関する基本方針
 10月22日、15～16時。厚木シティプラザ。☎当日直接会場へ。☎青少年課 ☎225-2581。

働く車が大集結 ミニ消防フェア

消防の仕事、楽しく体験しながら学べるイベントです。

《日時》10月16日 10～16時
 荒天中止(市HPに掲載)
 《場所》ぼうさいの丘公園
 《内容》災害時に活躍する拠点機能形成車、はしご車、消防車、救急車への体験乗車やスタンプラリー
 ☎当日直接会場へ。

☎消防総務課 ☎223-9366



拠点機能形成車は県内に1台のみ



第30回野外彫刻造形展 あつき青空アート展

プロの作家や子どもたちが作ったたくさんの作品が展示されます。秋空の下、芸術の秋を感じませんか。

《日時》10月9～16日 10～15時 《場所》ぼうさいの丘公園
 《内容》作品の展示、ワークショップ

■木の実のアート教室
 日時 10月10・16日 10～15時
 内容 木の実を使ったアート作りなど
 費用 1個150円(材料費)

■野点
 日時 10月15日 10～15時
 内容 お茶の作法を楽しむ
 費用 無料
 ☎いずれも当日直接会場へ。

☎文化生涯学習課 ☎225-2508

妻田薬師の文化財を訪ねて

12年に一度の薬師如来像半開帳に合わせ、貴重な市の指定有形文化財を一般公開します。

《日時》10月10・12日 10～15時
 《公開文化財》日光菩薩立像や月光菩薩立像、十二神将立像など
 《費用》無料
 ☎当日直接会場へ。駐車場はありません。

☎文化財保護課 ☎225-2509



インターネットモニターからの意見を紹介

Hot E-Mail

インターネットモニター募集中
 厚木市 インターネットモニター 検索

☎広報課 ☎225-2043

9月1日号「広報あつき」を読んで

◆通学路を子ども目線でチェックするのは良い取り組み。公園や児童館の周りも実施しては/40代女性 ◆救急業務に従事する職員の苦勞が伝わった/70代以上男性 ◆ごみの分別などもSDGsだという意識を持ちたい/40代女性 ◆SDGsを学ぶゲームはとても良い/60代男性 ◆11月の鮎まつりがみんなの力で開催できるよう祈念/40代男性 ◆駅前のモニュメントが気になっていたのが興味を湧いた/60代男性

編集後記

小学生の頃、昼の時間になれば当たり前のように机に並んでいた学校給食。取材を進める中、あの時食べていた給食は、食材納入業者をはじめ栄養士、調理員など多くの人が関わり、それぞれが思いを込めて提供されていたのだと分かりました。当時、そのことをもっと深く知っていたら給食に対する見方や気持ちも変わっていたのではと、思い返すきっかけになりました/森



大花火大会

《時間》18～19時

《場所》相模川三川合流点

《有料観覧席》セブン-イレブンで販売 詳細はこちら

おうちで大花火大会



大花火大会をインターネットで生配信します。会場に来なくても、オンライン鑑賞が楽しめます。



市民出店村

キッチンカーや出店が並びます。

《時間》10時～19時30分

《場所》厚木中央公園

催し

商店街

駅前の商店街が催しや出店にぎわいます。

- ・厚木なかちょう大通り商店街 12時～19時30分
- ・厚木一番街商店街 10時～19時30分

みこしの展示

迫力あるみこしを間近で見られます。

《時間》8時30分～16時

《場所》厚木中央公園



Dance Legend

ヒップホップやフラダンスなど、さまざまなダンスが楽しめます。

《時間》9～17時

《場所》厚木中央公園

←豆はっぴを抽選でプレゼント

11月5日開催

#鮎まつり 楽しみ

延期となっていたあつぎ鮎まつり。感染症に気を付けながら楽しみましょう。

☎観光振興課 ☎225-2820

Instagram 連動企画

Instagramで「#鮎まつり楽しみ」のハッシュタグを付けて投稿すると、抽選でプレゼントがもらえます。

《応募要件》鮎まつりにちなんだ人や景色などの未発表作品。応募は1人何点でも可。
☎11月4日までに、アプリ「Instagram」でハッシュタグ「#鮎まつり楽しみ」を付けて写真を投稿。詳しくは市公式Instagram (atsugi_city) に掲載。

☎広報課 ☎225-2040



自然歳時記

● トノサマバッタ ● バッタ科

体長は雌45～65^{mm}、雄35～40^{mm}で雌の方がやや大きい。河原や開けた明るい場所などに生息する。体は緑色で羽は茶色のまだら模様。太い後ろ脚で跳ね遠くへ飛ぶ／中荻野の農道で見つけた。写真・文／吉田文雄



飛翔能力に優れたトノサマバッタは、見つけるとすぐに飛ぶのでゆっくりと観察できないことが多い。

小学生との観察会帰りに「すごい大きなバッタがいる！」という声を聞きみんなで見ると、交尾中のトノサマバッタがいた。なぜトノサマバッタというのだろうか。

「かっこいいから」とか「大きいから」とかいろいろな意見が出た。生き物を実際に見て驚き感動したことは、きっと忘れない体験となって心に残ることだろう。

トノサマバッタは、エノコログサやメヒシバ、ススキなど雑草を好んで食べるので、河川敷でよく出合える。

厚木市の人口
(9月1日現在)



世帯数 10万3328世帯 (前月比125世帯増)



人口 22万4095人 (前月比40人増) 男11万5365人・女10万8730人